

千葉県インバウンド周遊動向調査[概要版]

◆◆◆調査結果の要約◆◆◆

《今回の旅行について》

- 訪日回数は、「初めて」が41.8%で最も多く、次いで「3～5回目（18.9%）」、「10回以上（18.1%）」の順となっている。訪日目的は、「観光」が83.5%と圧倒的に多い。
- 旅行の種類は、「個人で手配したフリープラン」が64.2%と最も多く、次いで「旅行会社企画の団体パッケージツアー（31.1%）」となっている。個人で手配したフリープランにおける宿泊施設の予約方法は、「インターネット（宿泊予約サイト）」が81.4%と太宗を占めている。

《千葉県への旅行について》

- 千葉県の訪問回数は、「初めて」が64.6%と最も多く、次いで「2回目（14.8%）」、「3～5回目（12.8%）」の順となっている。千葉県での滞在日数は、「1～2日」が64.7%で最も多く、次いで「3～5日（27.6%）」、「6～8日（5.4%）」の順となっている。
- 千葉県への訪問を決めた時期は、「自国での旅行計画中」が91.0%と圧倒的に多く、「日本を訪れてから」は6.2%に留まっている。千葉県に関する情報の入手手段は、「インターネットサイト」が67.2%で最も多い。
- 千葉県の訪問理由は、「東京ディズニーリゾート（TDR）」が42.7%と最も多く、「自然・景勝地観光（32.3%）」、「日本食を食べる（27.0%）」が続いている。
- 千葉県を来訪した際の満足度は、「公共交通」が93.0%、「宿泊施設」が97.8%、「通信環境」が92.9%、「案内表示」が92.9%、「おもてなし」が99.4%、「食事」が93.6%と総じて満足度は高水準であった。
- 千葉県への再訪意向は、98.3%が「来たい（是非とも+機会があれば）」と回答した。
- 千葉県に再訪意向のある回答者を対象に次回してみたいことを聞いたところ、「TDR」が最も多く、「観光地訪問」、「歴史・文化体験」、「自然・景勝地観光」、「グルメ」が続いている。
- 千葉県の課題は、Wi-Fiポイントの増加や多言語対応の不足、2次交通の充実、情報発信の強化、慣習の違いへの理解、サービス面における一層のグローバル化などを求める意見があった。

《周遊動向について》

- 入国空港は、「成田国際空港」が77.4%と最も多く、入国空港から千葉県への交通手段は、「鉄道（38.4%）」、「高速バス（31.1%）」、「路線バス（11.5%）」の順となっている。
- 出国空港は、「成田国際空港」が72.9%と最も多く、千葉県から出国空港までの交通手段は、「鉄道（42.7%）」、「高速バス（24.0%）」、「路線バス（11.9%）」の順となっている。
- 千葉県の訪問地は、「TDR」が41.0%と最も多く、次いで「成田山新勝寺（13.1%）」、「酒々井プレミアム・アウトレット（9.9%）」の順となっている。千葉県訪問の前後の訪問地は、いずれも「訪問していない」が最も多く、「新宿・大久保」、「銀座・有楽町・日比谷」が続いている。

《主な周遊ルートについて（宿泊地域別）》

- 東京湾岸・常磐つくばエクスプレス沿線地域への宿泊者（台湾）の入国・出国空港は、成田国際空港が7～8割となっている。TDRへの来訪（6割）と東京観光を行うルートとなっている。
- アクアライン・圏央道沿線地域の宿泊者（韓国）の入国・出国空港は、成田国際空港が8割前後となっている。箱根などの遠隔地も周遊しているほか、「TDR（53.8%）」及び成田空港周辺観光も行っている。
- 成田空港周辺・印旛地域への宿泊者（中国）の入国・出国空港は、「成田国際空港」が6割前後で最多ながら、「羽田空港」と「関西国際空港」も利用がみられ、関西方面にも足を伸ばしている。
- 銚子・九十九里・南房総地域の宿泊者（香港）は、県内宿泊前後に都内観光をしたあと、銚子・九十九里・南房総地域の観光地を幅広く周遊している。交通手段としては、レンタカーを効果的に活用している。

《インバウンドの誘致に向けた提言》

- 本調査では、インバウンドの誘致に向けた大きな方向性として、平成28年度調査で掲げた「1. “ちば” ならではの魅力づくり」、「2. 徹底したマーケティングの実施」、「3. “ちば” ならではのおもてなしの提供」、「4. 広域連携と2次交通への対応」をベースとして、更に、何を（温泉地や食体験等）、誰に（訪日リピーター等）、誰が（地元の連携体制の構築等）、どのように（多言語化・通信環境の整備、回遊性の向上、タクシーを含めた2次交通の利用促進等）、販売していくべきかなどを「見える化」した。

調査概要

| | | |
|-------|--|---|
| 調査目的 | 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定などを契機に訪日外国人（インバウンド）が急増（17年：2,869万人）しており、政府は、インバウンドの目標を20年に4,000万人、30年に6,000万人へと上方修正した。本協議会では、14年度にインバウンドの県内周遊動向調査及び16年度にはインバウンドの対応力向上に向けた調査を実施し、インバウンドの需給両面の調査を行ったが、本年度は、千葉県にインバウンドを呼び込むための基礎データとするために、インバウンドの周遊動向調査を実施した。 | |
| 調査期間 | 2017年8～11月 | |
| 調査方法 | アンケート調査（県内宿泊施設（28施設）における留置調査） | |
| 調査対象者 | 県内の宿泊施設を利用したインバウンド370人 （地域別構成比）東京湾岸・常磐TX沿線地域38.9%、アクアライン・圏央道沿線地域7.3%、成田空港周辺・印旛地域33.2%、銚子・九十九里・南房総地域20.5% （国籍別）中国34.9%、タイ12.4%、台湾12.2%、香港9.5%、韓国7.6%、その他23.4% | |
| 地域割 | 地域 | 市町村 |
| | 東京湾岸地域 | 千葉市、市川市、船橋市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市、浦安市 |
| | 常磐・TX沿線地域 | 松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市 |
| | アクアライン・圏央道沿線地域 | 木更津市、茂原市、東金市、市原市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、大網白里市、長柄町、長南町 |
| | 成田空港周辺・印旛地域 | 成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、山武市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、芝山町、横芝光町 |
| | 銚子・九十九里・南房総地域 | 銚子市、館山市、旭市、勝浦市、鴨川市、南房総市、匝瑳市、香取市、いすみ市、東庄町、九十九里町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、大多喜町、御宿町、鋸南町 |

調査項目一覧

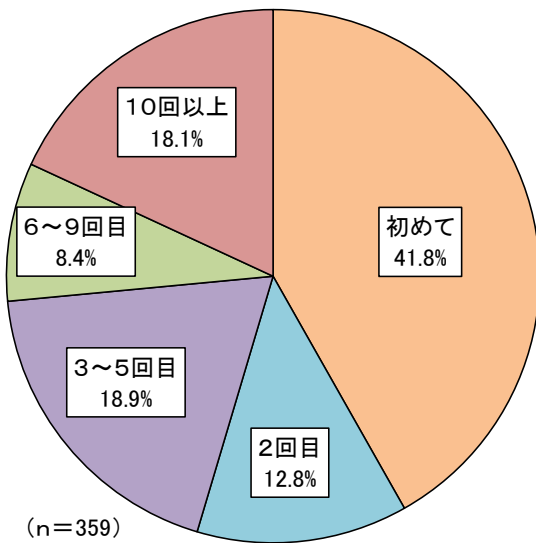
| | |
|-----------|--|
| ジャンル | 設 問 |
| 属 性 | 性別／年齢層／国籍 |
| 今回の旅行について | 訪日回数／訪日目的／旅行の種類／宿泊施設の予約方法／ 同伴者／滞在日数／訪日旅行の満足度 |
| 千葉県について | 千葉県の訪問回数・滞在日数 千葉県への訪問を決めた時期 千葉県に関する情報の入手手段 千葉県を訪問した目的 千葉県の満足度（公共交通・宿泊施設・通信環境・案内表示・おもてなし・食事） 千葉県への再訪意向 千葉県に関する潜在ニーズ 千葉県に関する印象・意見 |
| 周遊ルートについて | 入国空港 千葉県より前の訪問地 千葉県への交通手段 千葉県の訪問地 千葉県からの交通手段 千葉県より後の訪問地 出国空港 |

1. 今回の旅行について

(1) 訪日回数・訪日目的・旅行の種類

- 訪日回数は、「初めて」が 41.8%で最も多く、次いで「3～5回目 (18.9%)」、「10回以上 (18.1%)」の順となっている (図表1)。宿泊地域別にみると、「初めて」は「成田空港周辺・印旛地域 (68.3%)」、「10回以上」は「銚子・九十九里・南房総地域 (49.3%)」が多いことが目立つ (図表2)。
- 訪日目的は、「観光」が 83.5%と圧倒的に多く、「観光とビジネス (9.5%)」、「ビジネス (4.2%)」が続いている (図表3)。
- 旅行の種類は、「個人で手配したフリープラン」が 64.2%と最も多く、次いで「旅行会社企画の団体パッケージツアー (31.1%)」となっている (図表4)。

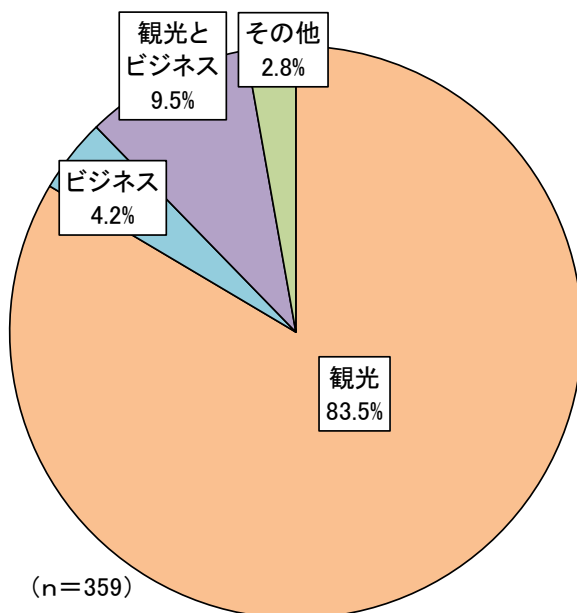
(図表1) 訪日回数



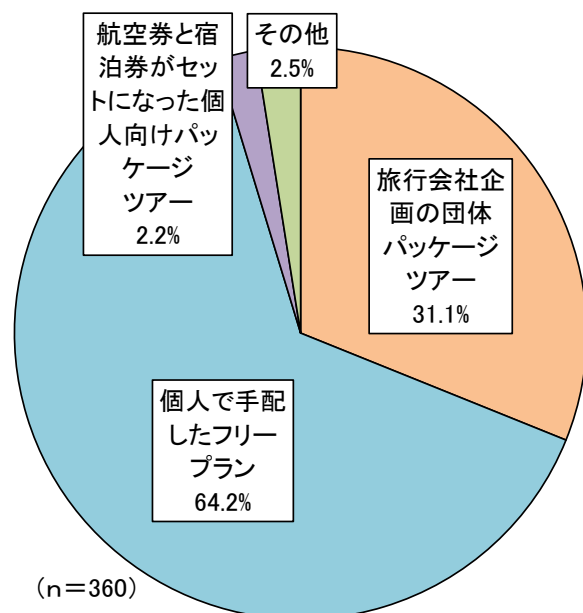
(図表2) 訪日回数【宿泊地域別】

| | | 回答数 (n) | (単位: %) | | | | |
|-------|----------------------|---------|---------|------|-------|-------|-------|
| | | | 初めて | 2回目 | 3～5回目 | 6～9回目 | 10回以上 |
| 宿泊地域別 | 東京湾岸・常磐つくばエクスプレス沿線地域 | 141 | 38.3 | 20.6 | 18.4 | 12.8 | 9.9 |
| | アクアライン・圏央道沿線地域 | 25 | 16.0 | 8.0 | 32.0 | 4.0 | 40.0 |
| | 成田空港周辺・印旛地域 | 120 | 68.3 | 8.3 | 13.3 | 5.8 | 4.2 |
| | 銚子・九十九里・南房総地域 | 73 | 13.7 | 6.8 | 24.7 | 5.5 | 49.3 |
| 全体 | 359 | 41.8 | 12.8 | 18.9 | 8.4 | 18.1 | |

(図表3) 訪日目的



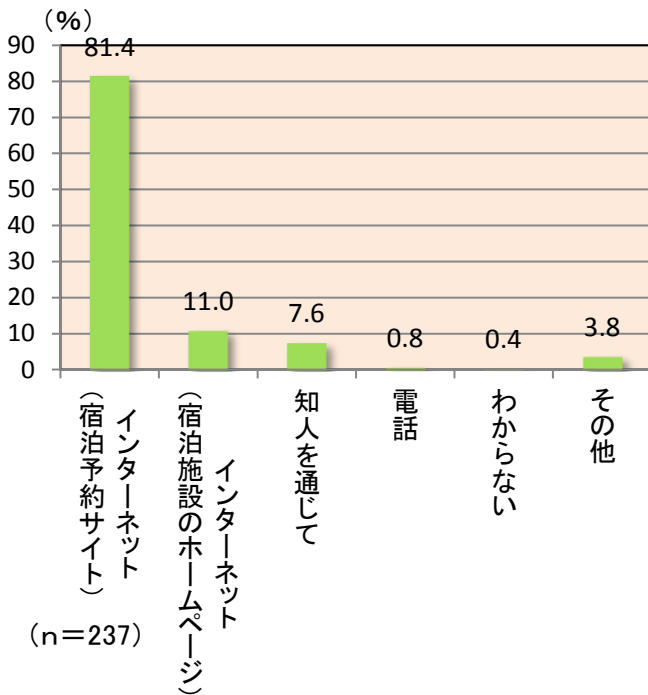
(図表4) 旅行の種類



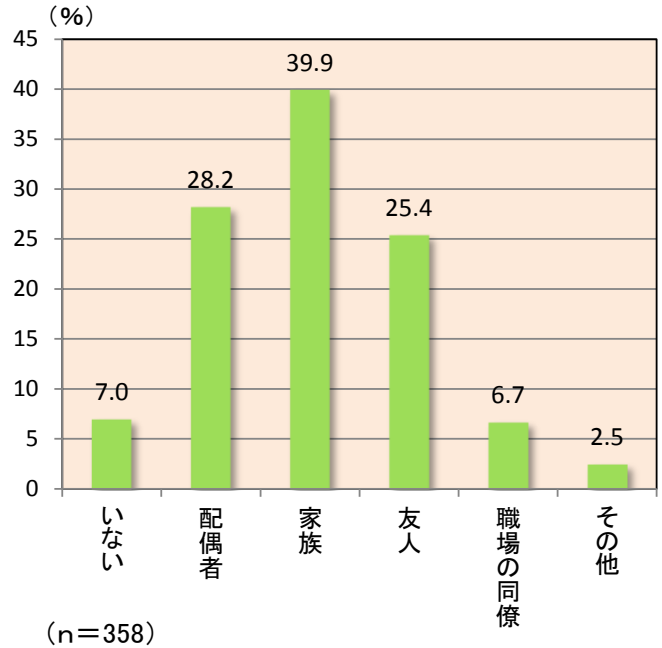
(2) 宿泊施設の予約方法・同伴者・滞在日数・訪日旅行の満足度

- 個人で手配したフリープランにおける宿泊施設の予約方法は、「インターネット（宿泊予約サイト）」が81.4%と太宗を占めている（図表5）。
- 旅行の同伴者は、「家族」が39.9%と最も多く、「配偶者（28.2%）」、「友人（25.4%）」が続いている（図表6）。
- 日本での滞在日数は、「6～8日」が55.4%と最も多く、「3～5日（24.2%）」、「12日以上（11.2%）」が続いている（図表7）。
- 訪日旅行の満足度は、98.3%が満足（大変+やや）と回答した（図表8）。

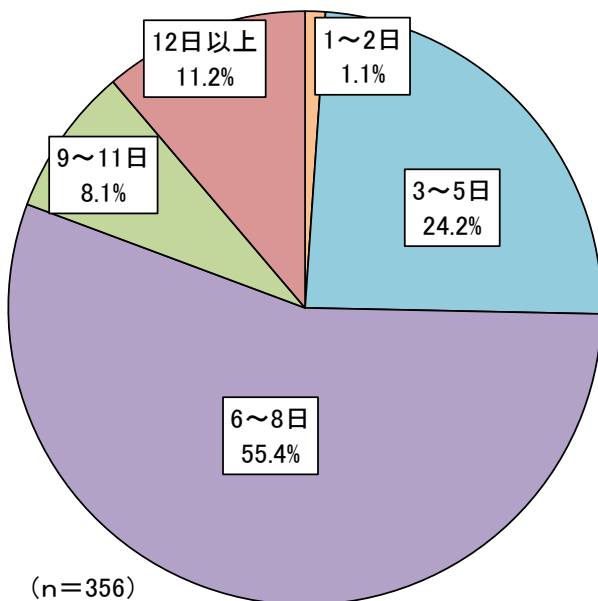
(図表5) 宿泊施設の予約方法
(対象:「個人で手配したフリープラン」の回答者)



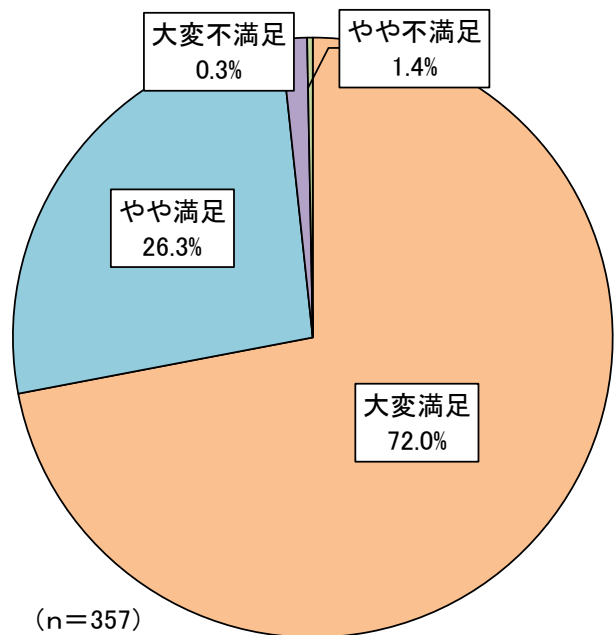
(図表6) 同伴者



(図表7) 滞在日数



(図表8) 訪日旅行の満足度

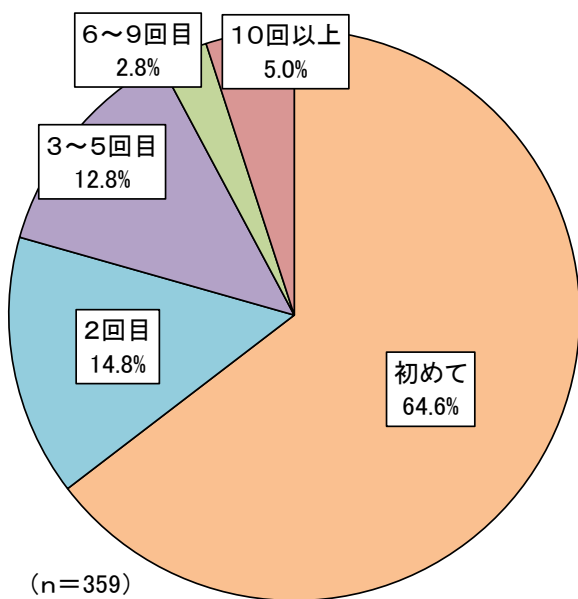


2. 千葉県について

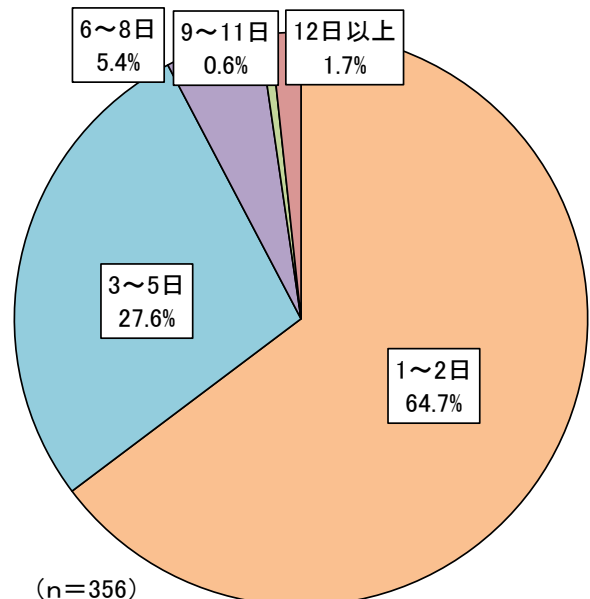
(1) 訪問回数・滞在日数・訪問を決めた時期・情報の入手手段

- 千葉県の訪問回数は、「初めて」が 64.6%と最も多く、次いで「2回目 (14.8%)」、「3～5回目 (12.8%)」の順となっている (図表 9)。
- 千葉県での滞在日数は、「1～2日」が 64.7%で最も多く、次いで「3～5日 (27.6%)」、「6～8日 (5.4%)」の順となっている (図表 10)。日本での滞在日数に占める千葉県滞在の割合は、38.0%となっている。
- 千葉県への訪問を決めた時期は、「自国での旅行計画中」が 91.0%と圧倒的に多く、「日本を訪れてから」は 6.2%に留まっている (図表 11)。
- 千葉県に関する情報の入手手段は、「インターネットサイト」が 67.2%で最も多く、次いで「旅行会社 (16.7%)」、「SNS (14.7%)」の順となっている (図表 12)。

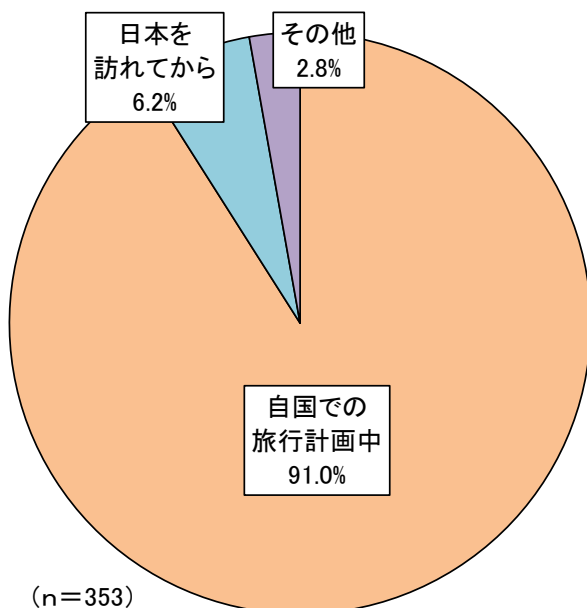
(図表 9) 千葉県への訪問回数



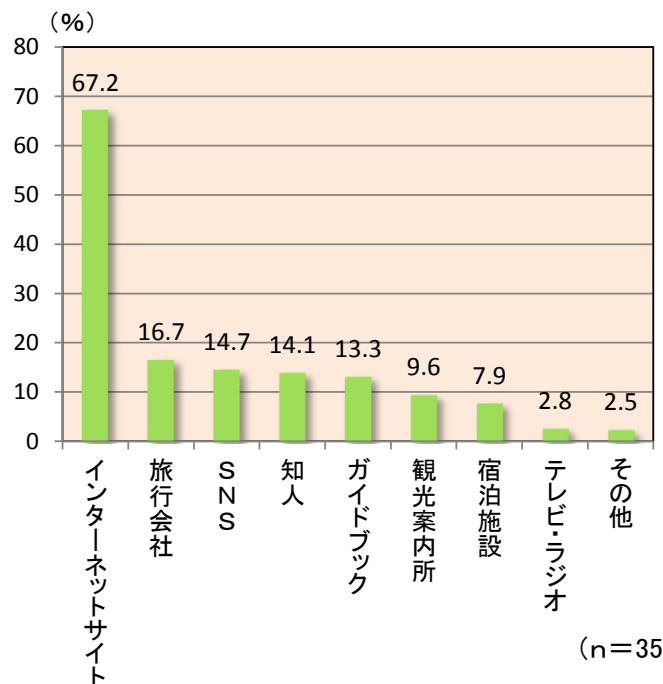
(図表 10) 千葉県での滞在日数



(図表 11) 千葉県に訪問を決めた時期



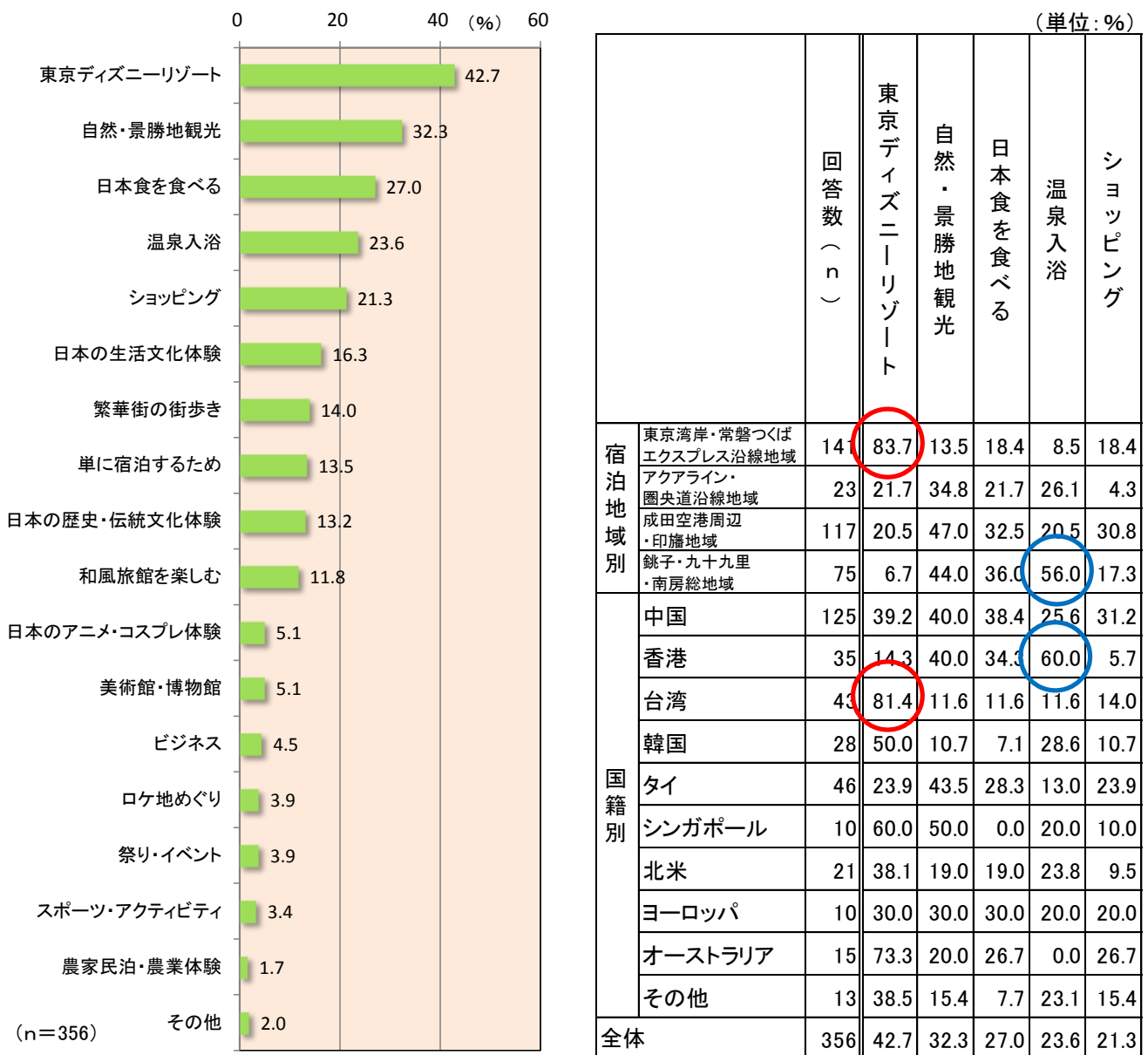
(図表 12) 千葉県に関する情報の入手手段



(2) 千葉県への訪問理由

- 千葉県の訪問理由（上位5位）は、「東京ディズニーリゾート」が42.7%と最も多く、「自然・景勝地観光（32.3%）」、「日本食を食べる（27.0%）」、「温泉入浴（23.6%）」、「ショッピング（21.3%）」が続いている（図表13）。
- 東京湾岸・常磐つくばエクスプレス沿線地域の宿泊者の千葉県の訪問理由は、「東京ディズニーリゾート」が83.7%と際立って多い。「東京ディズニーリゾート」を国籍別にみると、「台湾」が81.4%と最も多くなっている。
- 銚子・九十九里・南房総地域の宿泊者の千葉県の訪問理由をみると、「温泉入浴」が56.0%で最多となっている。「温泉」を国籍別にみると、「香港」が60.0%と多いことが目立つ。

(図表 13) 千葉県への訪問理由



(3) 千葉県の満足度・再訪意向・潜在ニーズ

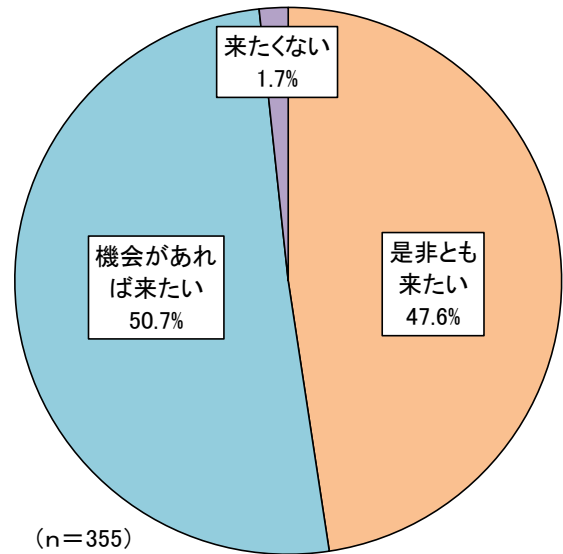
- 千葉県を来訪した際の満足度は、「公共交通」が 93.0%、「宿泊施設」が 97.8%、「通信環境」が 92.9%、「案内表示」が 92.9%、「おもてなし」が 99.4%、食事が 93.6% と総じて満足度は高水準であった（図表 14）。
- 千葉県への再訪意向は、98.3%が来たい（是非とも+機会があれば）と回答した（図表 15）。千葉県に「是非とも来たい」という回答者を宿泊地域別にみると、東京湾岸・常磐つくばエクスプレス沿線地域」と「銚子・九十九里・南房総地域」が約 6 割と多いことが目立つ（図表 16）。
- 千葉県に再訪意向のある回答者を対象に次回してみたいことを聞いたところ、「東京ディズニーリゾート」が 67 件で最も多く、「観光地訪問（59 件）」、「歴史・文化体験（33 件）」、「自然・景勝地観光（26 件）」、「グルメ（25 件）」が続いている（図表 17）。

(図表 14) 千葉県の満足度

(単位: %)

| | 回答数 (n) | 満足 | 不満足 |
|-------|---------|------|-----|
| 公共交通 | 314 | 93.0 | 7.0 |
| 宿泊施設 | 319 | 97.8 | 2.2 |
| 通信環境 | 311 | 92.9 | 7.1 |
| 案内表示 | 312 | 92.9 | 7.1 |
| おもてなし | 317 | 99.4 | 0.6 |
| 食 事 | 311 | 93.6 | 6.4 |

(図表 15) 千葉県の再訪意向



(図表 16) 千葉県の再訪意向(宿泊地域別)

(単位: %)

| | 回答数 (n) | 是非とも来たい | 機会があれば来たい | 来たくない |
|----------------------|---------|---------|-----------|-------|
| 東京湾岸・常磐つくばエクスプレス沿線地域 | 140 | 60.0 | 37.9 | 2.1 |
| アクアライン・圏央道沿線地域 | 25 | 36.0 | 60.0 | 4.0 |
| 成田空港周辺・印旛地域 | 116 | 28.4 | 70.7 | 0.9 |
| 銚子・九十九里・南房総地域 | 74 | 58.1 | 40.5 | 1.4 |
| 全 体 | 355 | 47.6 | 50.7 | 1.7 |

(図表 17) 千葉県に対する潜在ニーズ

| 潜在ニーズ | 回答数 (n) |
|-------------|---------|
| 東京ディズニーリゾート | 67 |
| 観光地訪問 | 59 |
| 歴史・文化体験 | 33 |
| 自然・景勝地観光 | 26 |
| グルメ | 25 |
| 温泉 | 19 |
| ショッピング | 19 |
| 名所旧跡 | 9 |
| 遊覧 | 7 |
| スポーツ体験・観戦 | 7 |
| 長期滞在 | 5 |
| 自由旅行(行動) | 5 |
| 成田山新勝寺 | 4 |
| 温泉 | 4 |
| リラックスしたい | 4 |
| 農業体験 | 2 |
| その他 | 8 |

(注)「観光地訪問」は観光したいという漠然としたニーズを集計。

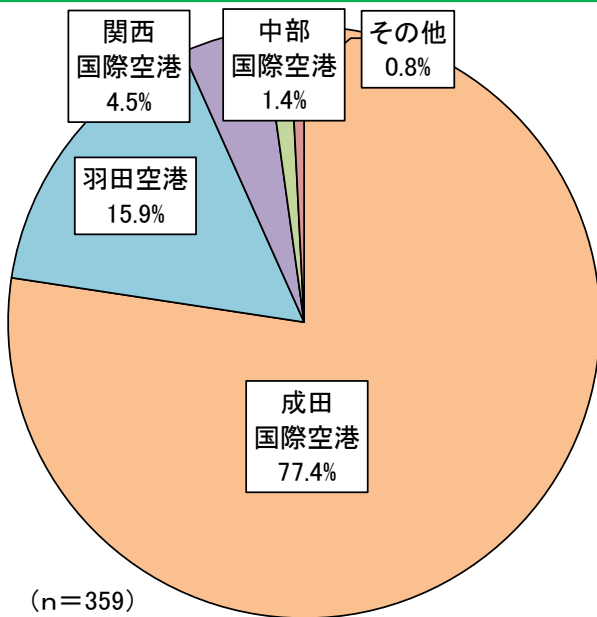
3. 周遊動向・周遊ルートについて

(1) 周遊動向

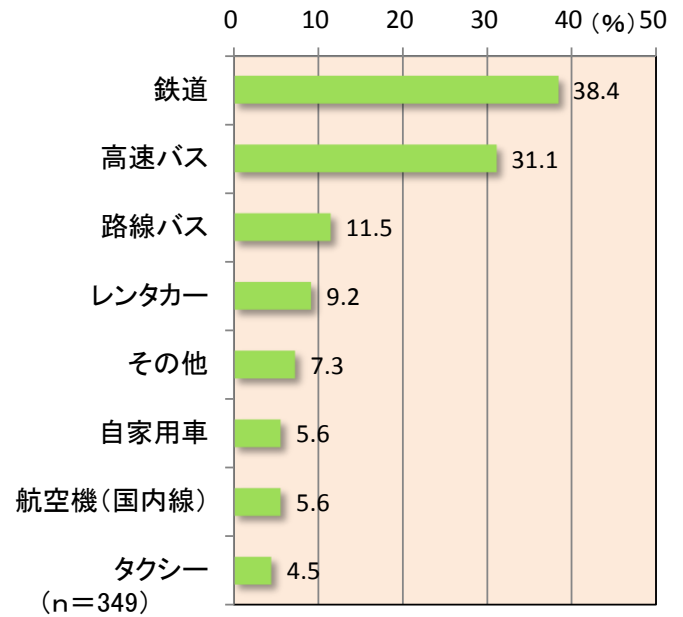
① 出入国空港・交通手段

- 入国空港は、「成田国際空港」が 77.4%と最も多く、次いで「羽田空港 (15.9%)」、「関西国際空港 (4.5%)」、「中部国際空港 (1.4%)」の順となっている (図表 20)。
- 入国空港から千葉県への交通手段は、「鉄道」が 38.4%と最も多く、次いで「高速バス (31.1%)」、「路線バス (11.5%)」の順となっている (図表 21)。
- 出国空港は、「成田国際空港」が 72.9%と最も多く、次いで「羽田空港 (12.5%)」、「関西国際空港 (10.0%)」、「中部国際空港 (2.6%)」の順となっている (図表 22)。
- 千葉県から出国空港までの交通手段は、「鉄道」が 42.7%と最も多く、次いで「高速バス (24.0%)」、「路線バス (11.9%)」の順となっている (図表 23)。

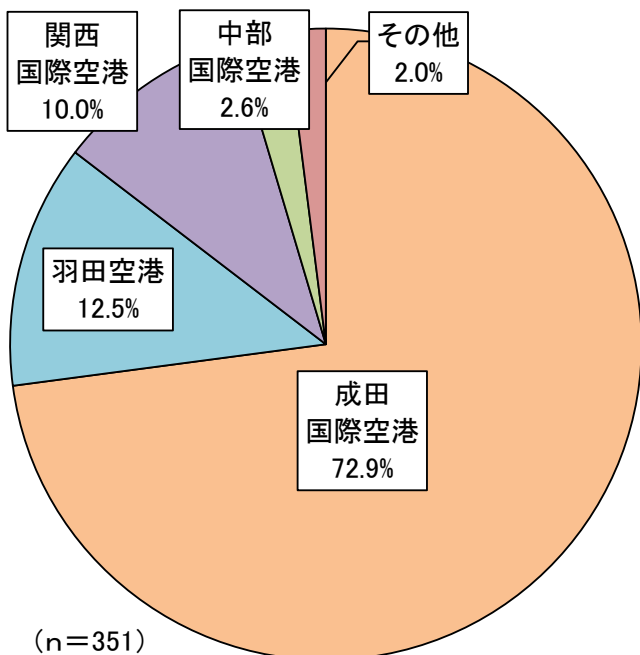
(図表 20) 入国空港



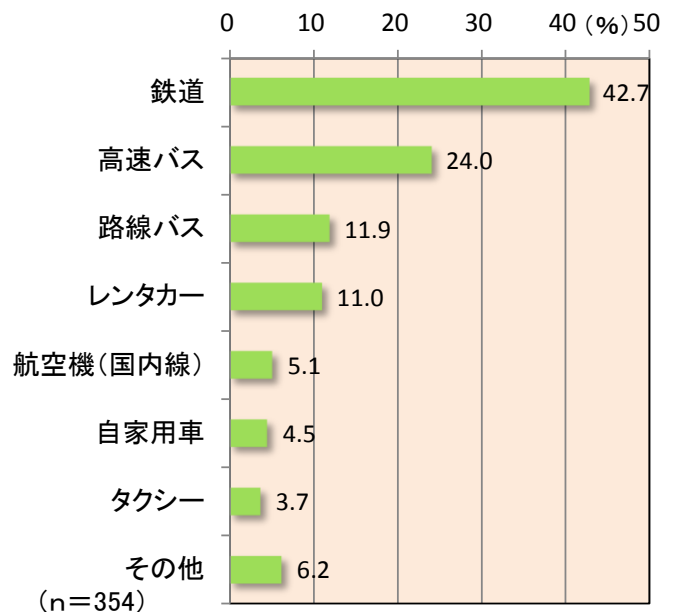
(図表 21) 交通手段(入国空港→千葉県)



(図表 22) 出国空港



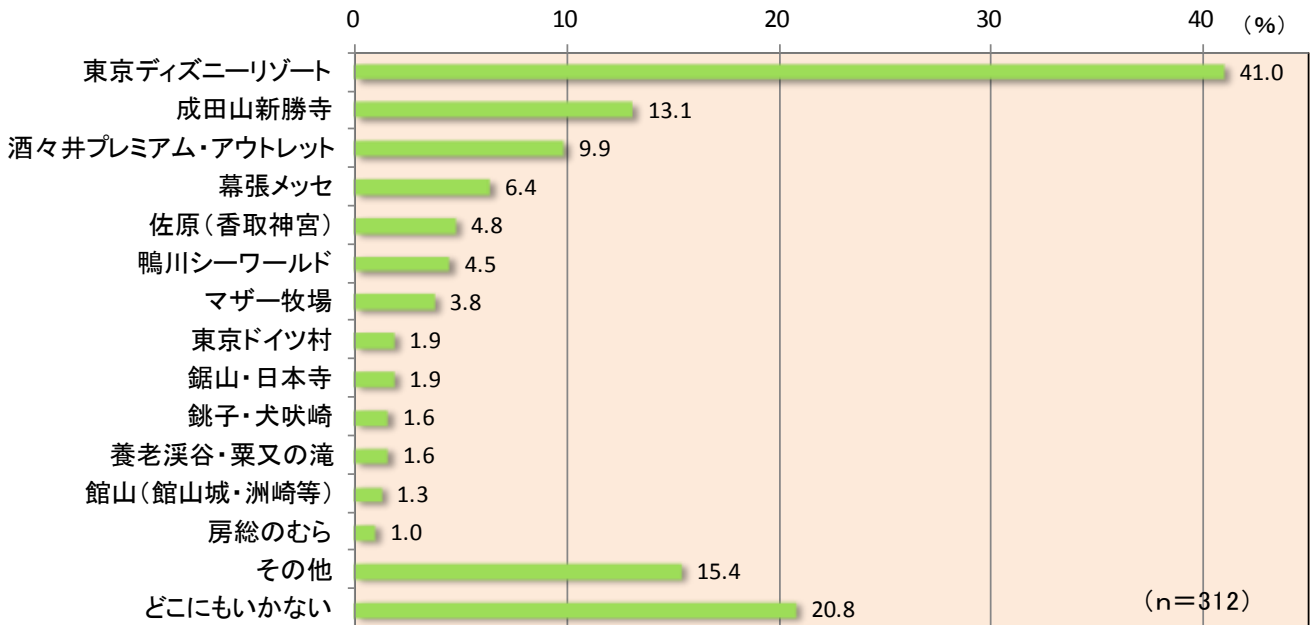
(図表 23) 交通手段(千葉県→出国空港)



②千葉県の訪問地・施設、千葉県訪問前後の訪問地

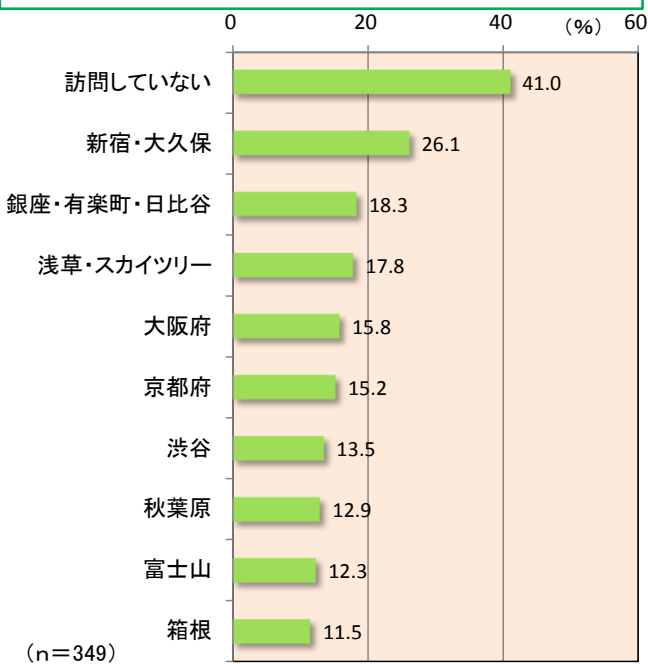
- 千葉県の訪問地は、「東京ディズニーリゾート」が41.0%と最も多く、次いで「成田山新勝寺(13.1%)」、「酒々井プレミアム・アウトレット(9.9%)」の順となっている(図表24)。「どこにも行かない」は20.8%であった。
- 千葉県への訪問の前後の訪問地は、いずれも「訪問していない」が最も多く、「新宿・大久保」、「銀座・有楽町・日比谷」が続いている(図表25、26)。

(図表24) 千葉県の訪問地・施設

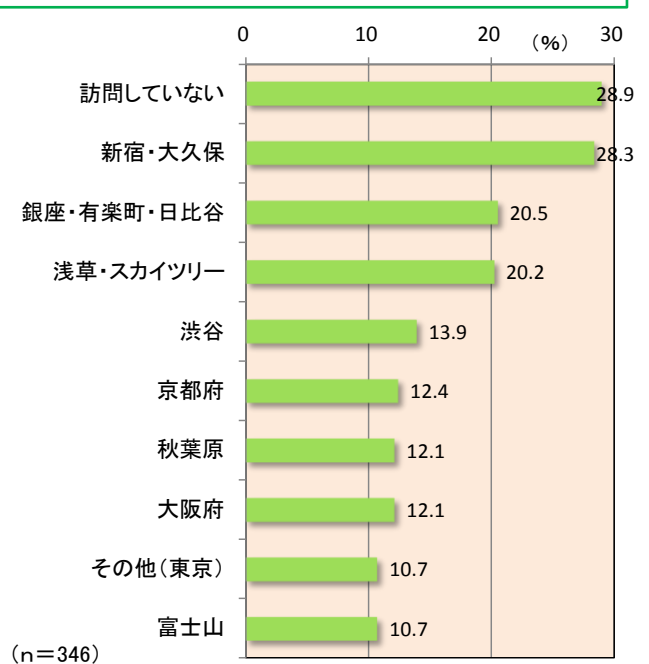


(注) 訪問地・施設は1.0%以上を掲載。

(図表25) 千葉県より前の訪問地



(図表26) 千葉県より後の訪問地

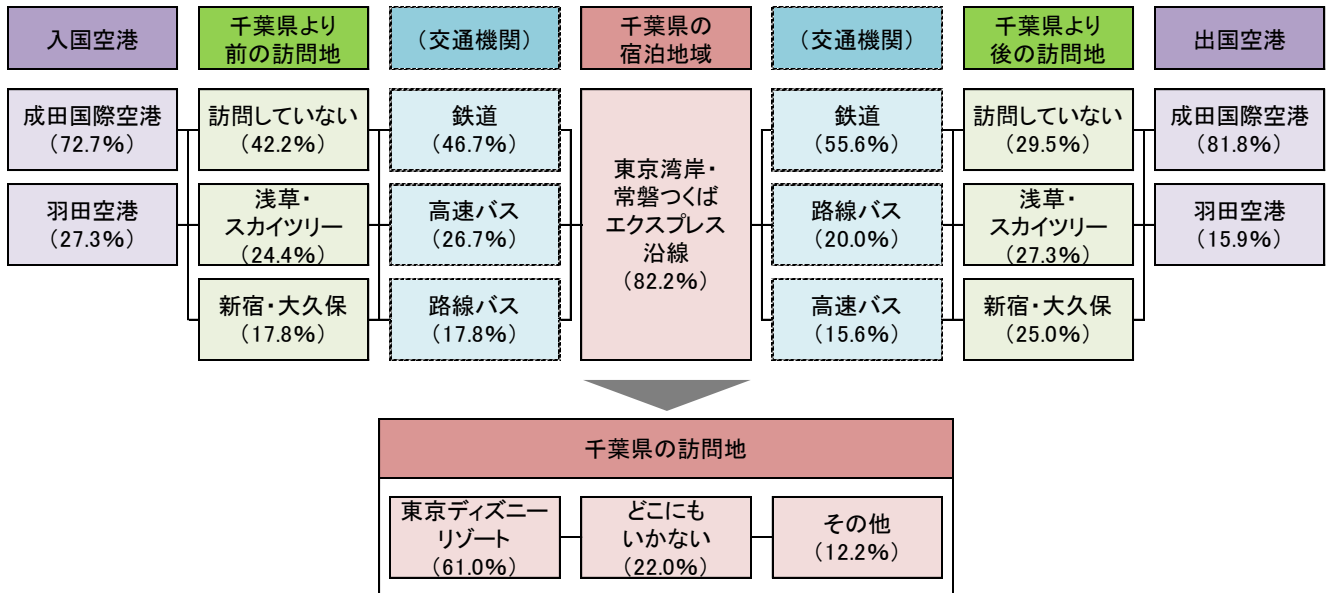


(2) 主な周遊ルート (宿泊地域別)

① 東京湾・常磐つくばエクスプレス沿線地域 (TDR・都内周遊ルート)

○ 東京湾岸・常磐つくばエクスプレス沿線地域への宿泊者を国籍別にみると、「台湾」が82.2%で最多であった(図表27)。入国・出国空港は、成田国際空港が7~8割となっている。千葉県内では東京ディズニーリゾートへの来訪が6割となっており、千葉県訪問の前後で東京観光を行うルートとなっている。

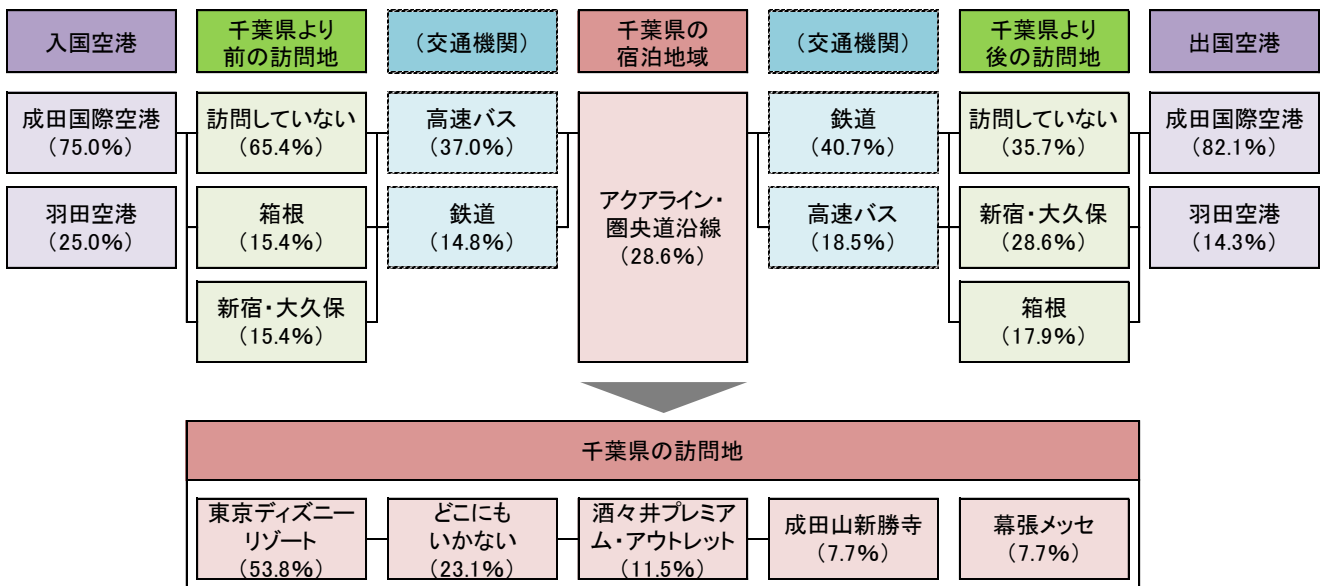
(図表27) 東京湾・常磐つくばエクスプレス沿線地域の宿泊者の周遊ルート【台湾】(n=45)



② アクアライン・圏央道沿線地域 (TDR及び都内・箱根等周遊ルート)

○ アクアライン・圏央道沿線地域の宿泊者を国籍別にみると、「韓国」が28.6%で最多であった(図表28)。入国・出国空港は、成田国際空港が8割前後となっている。都内観光をからめつつ、圏央道・アクアラインなどの交通インフラの優位性を活用して、箱根などの遠隔地も周遊している。一方、千葉県内への来訪は、「東京ディズニーリゾート(53.8%)」のほか成田空港周辺の観光も行っている。

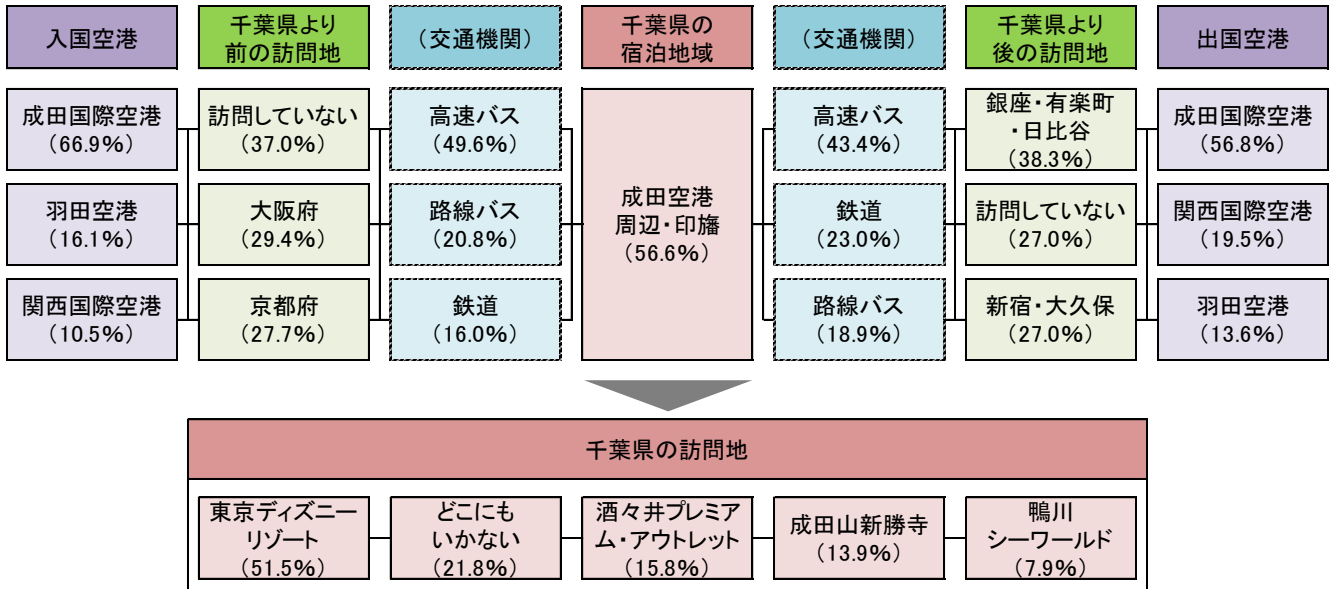
(図表28) アクアライン・圏央道沿線地域の宿泊者の周遊ルート【韓国】(n=28)



③成田空港周辺・印旛地域（TDR及関西・都内周遊ルート）

○ 成田空港周辺・印旛地域への宿泊者を国籍別にみると、「中国」が56.6%で最多であった（図表29）。入国・出国空港は、「成田国際空港」が6割前後で最多ながら、「羽田空港」と「関西国際空港」も利用がみられ、周遊ルートは、関西方面にも足を伸ばしていることが特徴的である。一方、千葉県内への来訪は、「東京ディズニーリゾート（51.5%）」のほか、成田空港周辺の観光も行っている。

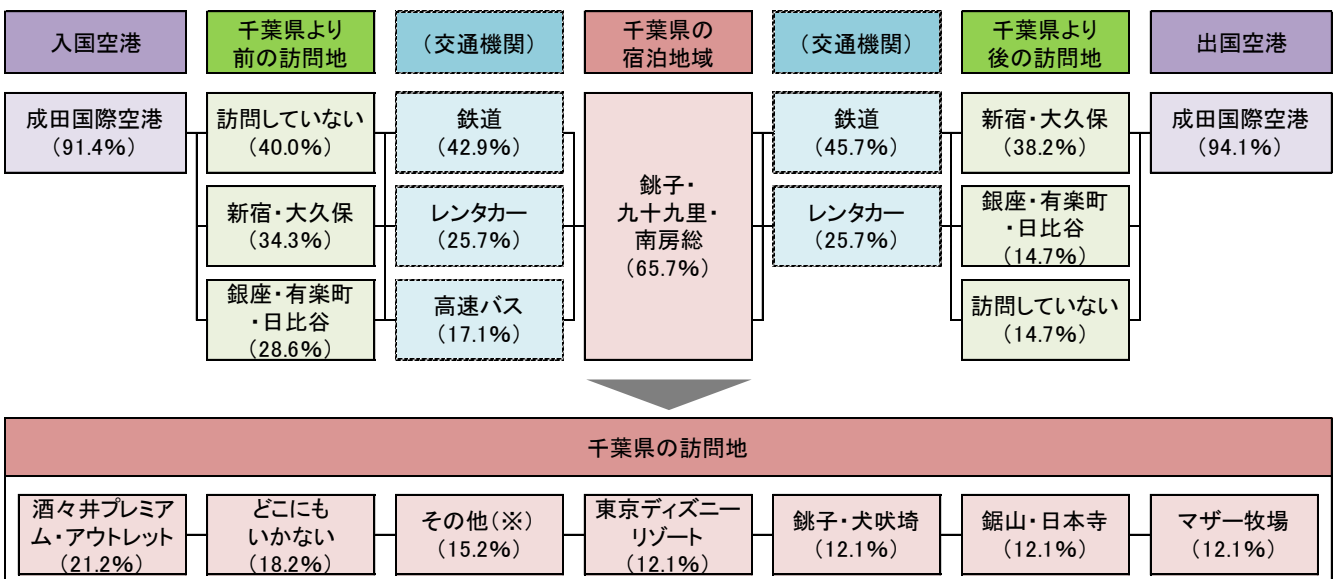
（図表29）成田空港周辺・印旛地域の宿泊者の周遊ルート【中国】(n=129)



④銚子・九十九里・南房総地域（県内+都内周遊ルート）

○ 銚子・九十九里・南房総地域の宿泊者を国籍別にみると、「香港」が65.7%で最多であった（図表30）。入国・出国空港は、成田国際空港が9割以上を占めている。同地域のホテル・旅館への宿泊前後に都内観光をしている。県内の訪問地をみると、銚子・九十九里・南房総地域の観光地を幅広く周遊している。県内交通手段としては、レンタカーを効果的に活用しているのが特徴的であった。

（図表30）銚子・九十九里・南房総地域の宿泊者の周遊ルート【香港】(n=35)



※犬吠埼灯台、養老溪谷、亀山湖、九十九里海岸、館山市、御宿町、道の駅とみうら、木更津アウトレットモール、the Fish、金谷美術館

4. インバウンドの誘致に向けた提言

- 本調査では、インバウンドの誘致に向けた大きな方向性として、「1. “ちば”ならではの魅力づくり」、「2. 徹底したマーケティングの実施」、「3. “ちば”ならではのおもてなしの提供」、「4. 広域連携と2次交通への対応」を掲げ、更に、何を（温泉地や食体験等）、誰に（訪日リピーター等）、誰が（地元の連携体制の構築等）、どのように（多言語化・通信環境の整備、回遊性の向上、タクシーを含めた2次交通の利用促進等）、販売していくべきかなどを「見える化」した。（図表 31）。

（図表 31）千葉県インバウンドの誘致に向けて必要な取り組み

| 本調査における提言 | |
|--|--|
| 1. “ちば”ならではの魅力づくり (1) 観光資源の掘り起しとブラッシュアップ (2) 体験型の旅行商品の開発・販売 (3) 感動的な「食体験」の提供 | ① 銚子・九十九里・南房総地域を中心に自然豊かな温泉地を売り込め！ ② 地域固有の食文化を活用して感動的な「食体験」を提供せよ！ ③ 宿泊拠点をベースに周辺エリアの回遊性を高めよ！ |
| 2. 徹底したマーケティングの実施 (1) 積極的に誘致するターゲットの明確化 (2) ICT・SNSの戦略的活用 | ① 訪日リピーターにターゲットを絞れ！ ② 成田空港周辺エリアではインバウンドの空き時間で周遊促進を！ ③ 宿泊予約サイトへの登録とホームページの多言語化を急げ！ |
| 3. “ちば”ならではのおもてなしの提供 (1) 地域のホスピタリティの醸成 (2) ユニバーサルデザインによるまちづくり | ① 「また来たい」と思わせるようなおもてなしを提供せよ！ ② サイン・サービスの多言語化でユニバーサルなまちを目指せ！ ③ Wi-Fiなどの通信環境の更なる整備を急げ！ |
| 4. 広域連携と2次交通への対応 (1) 広域連携による地域の魅力アップ (2) 2次交通の充実 (3) 地域が一体となった誘致活動の推進 | ① 観光地域づくりにおける連携体制を強化せよ！ ② 銚子・九十九里・南房総地域は長期滞在型のリゾート地を目指せ！ ③ 2次交通は高速バスや鉄道と「レンタカー」の相乗効果を狙え！ |